

第2回寒川文書館運営審議会 会議録

日 時 平成20年2月6日(水)午後2時
場 所 寒川総合図書館 3階 会議室
出 席 木村、小川、細川、野村、石黒、中門委員

1 あいさつ

2 議題

(1)平成19年度寒川文書館事業経過報告(資料1)

レジュメにしたがい、事務局より説明した。それに対する質疑は次のとおりであった。

職員体制について再確認したい。

館長は総務課長が兼務。専任職員は1名。ほかに月8日程度勤務の臨時職員8名で、年間310日程度の開館日数を維持している。

レファレンスはどの範囲のサービスを指すか。

カウンターに調べたい事柄を告げていただき、見るべき資料を紹介すれば件数にカウントするが、開架書架の本の位置を尋ねる程度では数えない。中学校の総合学習の場合、生徒各自の調べたい事柄が異なっても、トータルで1件とカウントしている。

古文書の資料所蔵者への閲覧許諾はどのくらい進んでいるか。

点数で4割、件数では3割弱程度である。今年度当初は町外の所蔵者に一斉に依頼の手紙を送ったため、件数はやや伸びたが、今後も継続して進めていく。

町外資料のうち、馬路町自治会文書とはどのようなものか。

馬路町は京都府亀岡市で、江戸時代に宮山村を納めた旗本・杉浦氏に関する文書。杉浦氏は丹波と相模にまとまって所領を持っており、相模の史料ではわからなかった領民の役負担について丹波の史料で解明できる。

閲覧に供しているのは写真版とのことだが、フィルムで閲覧することはないのか。

リーダープリンタもあるのでフィルムの閲覧も可能だが、写真版の方が便利だし複写が容易なので、原則写真版としている。写真版の貸し出し中に閲覧請求が重なった1回だけ、フィルムの閲覧をお願いしたことがある。

(2)平成20年度寒川文書館事業計画(資料2)

レジュメにしたがい、事務局より説明した。次のような質疑を経て、原案どおり了承された。

文化財学習センターとの連携はどのように行っているか。文書館でセンター所蔵の遺物を借りて展示しても良いのではないか。

3月からの大神塚の展示は、センターに昨年11月に設置された陪塚の石室のレプリカのPRも兼ねたものである。遺物を実際に展示することも検討したが、温度・湿度の管理が難しいのと、奥行きのない展示ケースしかないことから断念し、むしろセンターへ足を運んでもらうことをアピールする展示にする。

ICA(国際文書館評議会)が、昨年11月、6月9日を「国際アーカイブの日」と定めた。これに呼応するようなイベントを検討してほしい。できればスタンプラリーなど県内の他館と連携した企画が望ましい。

全史料協や国立公文書館等の動向など情報を収集しながら、検討したい。

他市町村の自治体史刊行物をもっと収集してほしい。

開館前に関東一円のおもだった自治体史は資料交換のかたちで積極的に収集している。今後はたとえば河川史料をたくさん載せているものなど、一定の基準を設けて資料交換を増やしていく必要がある。

燻蒸委託のおり、害虫の飛来調査を行ったそうだが、資料保存のためには、年に1回ではなく、常時トラップを仕掛けておく必要があるのではないか。

すべての虫が紙に悪影響を与えるものではないので、保存と利用とのバランスでどこまで実施するかを検討する必要がある。

史跡を歩く講座などを実施する予定はあるか。

生涯学習課主催の史跡ウォークには講師の形で協力している。すでに10年近い実績がある事業なので、競合するよりは協力する形にしたい。中世史講座では、4回のうち1回を、館跡の見学会にすることも検討したい。

公文書に関する規程の改正が急務ということだが、文書館のみで対処できるのか。全庁的な問題なので、広い視野で検討する必要がある。

(小川委員より補足)

国では公文書管理法を制定する動きが急にでてきた。新聞によれば今国会に議案がでる見通しという。法律ができれば自治体においても、規則ではなく条例

で文書管理を定める流れになるのではないか。寒川でもぜひ検討をお願いしたい。

写真整理ボランティアの作業にミスがあった場合のチェック体制はできているか。

現在の作業は、写真に番号を振り、広報の紙面と照合しながらタイトルをつけるというものだが、データベース入力には別の臨時職員が担当しているので、ミスがあればそこで発見できる可能性が高い。今後は入力作業もボランティアに頼むこともありうるが、必ず複数の眼で見てチェックできるようにしたい。

(3)その他

小川委員より、公文書の評価・選別基準について、全史料協役員会で検討したガイドラインの披露があった。これによれば、評価フローチャートのモデルが示され、自治体ごとに基準が作成しやすくなったという。寒川でもぜひこれを実践してもらいたいという提案であった。

事務局からは、次回会議は年度明けになるので、また追って調整したい旨を伝えた。